

## 第1回南部圏域の地域包括を考える会（なんケアの会）を開催しました

開催日時：平成28年2月16日（金）18:00～19:00

会場：御野場病院 大会議室

参加人数：20名（南部圏域の介護事業所関係者や医療機関関係者、薬剤師の皆様など）

メインテーマ：「地域包括で認知症を支える」

サブテーマ：「心不全を伴う独居認知症への対応」

今回は、当院病院長の皆河崇志先生と、ケアプラン工房虹の街 介護支援専門の武部悦子氏に協力を得て、「心不全を伴う独居認知症患者への対応」の事例紹介を行いました。最初は認知症があるため服薬管理・食事管理が大変でしたが、ケアマネージャーと密に連絡を取りながら、内服薬を昼1回にまとめてヘルパーに内服確認してもらったり、ヘルパーが毎日介入して活気ある規則的な生活を送れるようになりました。医療と介護の関わりから、ちょっとした工夫で、独居で認知症でも在宅療養が可能になっている一例の紹介でした。

また、「服薬管理が困難な認知症高齢者への取り組み」についてグループ毎に意見交換を行いました。服薬が困難な認知症高齢者について、参加者の皆様の現場での状況や取り組んでいることを話し合いました。飲んだり飲まなかったり、自分で好きなように飲んだり、自己中断したり、認知症患者の服薬管理は困難な事が多いようです。お薬カレンダーの活用で改善した例、タクシーの運転手さんに声かけの協力してもらっている例などの紹介がありました。調剤薬局や、民生委員、町内会長など地域ぐるみで関わっていくことも方法の一つとの意見も出されました。

最後に、当院外来看護師より「心不全疾患患者の在宅療養上の注意事項」についてミニ講演を行いました。

様々な職種から現場での実体験の話聞くことができ、大変有意義な会となりました。この会を今後も継続し、南部圏域の地域包括ケアで私達ができることを考え、実践していきたいと思います。